

# 近世琵琶湖水運の研究

杉江 進 著

好評発売中(2011年1月)

A5判・464頁／定価9,450円(税込) ISBN978-4-7842-1551-5

本書は、古代以来、全国流通路の中でも重要な位置を占めていた琵琶湖水運の近世について、より歴史的な視点からその全体像や特徴を描き出そうとするものである。近世における堅田の変貌、後背地との結びつきにより分けられる三地域（「諸浦の親郷」(堅田・大津・八幡)・湖北四ヶ浦・彦根三湊)の対抗関係、船の航行と船支配の関係という三つの視点を基軸に、近世前期琵琶湖水運の構造と特質、廻船規定、諸浦の盛衰を取り上げて論究する。またその前提として織田信長による琵琶湖水運支配、琵琶湖を航行した船の名称をも具体的に検討し、従来の認識・評価の問題点を指摘する。

今年で琵琶湖水運研究30年という節目を迎えた著者が、大津をはじめとする琵琶湖水運史上重要な湊の自治体史編さんに携わりつつ、そこで出会った史料と丹念に向き合いながら、あたため深めてきた研究成果。

## 内容目次

### 序 本書の課題と前提

- 第1章 琵琶湖水運研究の課題  
琵琶湖水運研究史／古代・中世の琵琶湖水運／本書の分析視点と全体構成
- 第2章 織田信長と琵琶湖水運  
禁制・定・宛行状／軍事政策と大船建造／「みずうみの城郭網」の再検討
- 第3章 忘れられた「丸船」―「丸子船」と「丸船」をめぐって―  
近世初期の史料に現れる船の名称／湖水舟奉行支配の「丸船」と彦根藩領の「丸子船」／船支配と名称の使い分け／「丸子船」と『近江輿地志略』

### I 近世前期琵琶湖水運の構造と特質

- 第1章 近世琵琶湖水運の成立―大津百艘船と船奉行―  
大津百艘船の誕生／船奉行の登場／「江州湖上往還之船定々々」と運上／幕府の成立と湖水舟奉行・大津代官
- 第2章 近世琵琶湖水運の展開  
―「諸浦の親郷」三カ浦の誕生―  
「諸浦の親郷」三カ浦の由緒と廻船／「台徳院様御代」と「大猷院様御代」の争論／廻船証文と宛先／「諸浦の親郷」三カ浦の登場
- 第3章 近世琵琶湖水運の変容  
―「湖辺重立候」八カ浦と大津―  
西廻り航路の整備とその影響／湖水船奉行の交代と運上の賦課／大津代官の湖水船奉行兼帯と堅田・八幡の私領化／九カ浦体制の登場
- 第4章 幕藩間の相克―大津百艘船と彦根三湊―  
彦根藩の水運政策／大津の特権と彦根水運／正徳の船賃争論／享保の争論と彦根三湊の勝利

### II 近世琵琶湖水運の廻船規定

- 第1章 廻船規定としての廻船折／廻船折の実際／廻船・船宿の役割
- 第2章 上米と乗前  
大津の特権と上米／船積みの順番と乗前／上米の衰退と乗前の展開
- 第3章 丸船・丸子船と船株  
船株の由緒／船株争論と船株譲渡／船株権利の変遷

### III 諸浦の盛衰

- 第1章 「諸浦の親郷」八幡  
堅田の「浦組」八幡／八幡航路の展開／八幡堀の恩恵／八幡・常楽寺一件
- 第2章 若狭との窓口 今津  
江若交通路の整備と浅野長吉／金沢藩代官今津氏と今津浦・今津宿／日本海海運と今津「会所座」／西廻り航路整備の影響
- 第3章 東海道の渡し場 矢橋  
矢橋と東海道の継立て／物資集荷地としての矢橋と山田／矢橋の船支配と役儀／「矢橋宿」の様相と渡し船の対岸
- 第4章 彦根藩と彦根三湊  
彦根藩領の湊／「北国脇往還」と長浜／米原の発展と「九里半街道」／彦根藩の拠点松原と長浜・米原の対立

すぎえ・すすむ…1957年生。大津市教育委員会文化財保護課勤務。おもな著書に共著『栗東の歴史』第二巻（栗東町役場，1990年），『滋賀県の地名』（平凡社，1991年），『園城寺文書』第五・六巻（講談社・園城寺，1999-2000年），『図説 大津の歴史』（大津市，1999年）など。

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel075-751-1781 fax075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近世琵琶湖水運の研究	本体9,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1551-5	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				書店番線印

## 環琵琶湖地域論

西川幸治・村井康彦編

滋賀県立大学の研究スタッフが、琵琶湖をとりまく自然・経済・民俗・遺跡などをとりあげた成果。【内容】中世商業村落の生活と環境の整備(脇田晴子)江戸時代における琵琶湖の鳥胤について(東幸代)琵琶湖湖底遺跡の研究(林博通)内湖のあった生活(高谷好一)近江のムラの文化を考える(武邑尚彦)マツリゴトの機能とその現在(谷泰)ほか  
▶A5判・340頁/定価7,350円 ISBN4-7842-1175-6

## 石山寺の信仰と歴史

鷲尾遍隆監修/綾村宏編

琵琶湖畔に伽藍を構える石山寺は、奈良時代、聖武天皇の勅願により創建され、古くから観音信仰の聖地であった。西国三十三所第十三番札所として知られ、多くの人たちによってその信仰と文化が育み守られてきた名刹である。その信仰・歴史・美術・文学・経典を、第一線の研究者が、豊富な図版とともに解説。オールカラー、図版150点。  
▶A5判・180頁/定価1,890円 ISBN978-4-7842-1387-0

## 中世村落の景観と環境 山門領近江国木津荘

水野草二編

近江の湖西、高島郡の木津荘(現・新旭町)は、山門の寺務機構が管理・運営する天台座主直轄の重要荘園である。本書はこの木津荘に残る検注帳・引田帳ほか文献の詳細な検討、地表に残されている用水路や水田の形状、地名・伝承など「生きた文化財」の調査から、山門領荘園の実態と中世村落の景観に迫る。  
▶A5判・392頁/定価7,140円 ISBN4-7842-1198-5

## 近世上方大工の組・仲間

川上真著

中井家による五畿内・近江六か国大工組支配の仕組みのなかで、各地に組織・編成されていた大工組に焦点をあて、その成立、運営と変遷、さらには分裂と再編を、近世前期にまでさかのぼる新出史料をもとに検証。【内容】中井家と畿内・近江六か国の大工組/摂津国の大工組/河内国北部の大工組/近世の建築造営と大工  
▶A5判・402頁/定価9,450円 ISBN4-7842-0922-0

## 近世東アジア海域の文化交渉

松浦章著

清代帆船やその後登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を解明。【内容】前近代東アジア海域間の文化交渉/第一編 日中の文化交渉/第二編 海域を越えた文化交渉/第三編 言語接触に見る文化交渉/第四編 物流による文化交渉/近世東アジア文化交渉と中国帆船  
▶A5判・472頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1538-6

## 伝統産業の成立と発展 播州三木金物の事例

桑田優著

兵庫県三木市の伝統産業、三木金物は近世後期に勃興し、現在にいたっている。本書は、流通機構の発達など社会的な背景にも着目し、三木金物が特産品として全国市場へ進出してゆく過程を跡付ける通史である。【内容】第一部 三木金物の成立と発展/第二部 地場産業勃興と社会文化の発達  
▶A5判・302頁/定価6,825円 ISBN978-4-7842-1523-2

## 近世後期瀬戸内塩業史の研究

山下恭著

塩業と醤油業における開発・経営・塩専売制・流通問題を分析し、さらに塩業における燃料問題と労働条件を数量的に解明。【内容】近世後期赤穂前川浜の開発/近世後期龍野醤油醸造業者の塩田経営/龍野藩網干新在家浜と醤油造元/近世後期における赤穂塩の流通と野田醤油/近世後期赤穂塩業の燃料革命/近世後期竹原の塩業労働者の給銀  
▶A5判・300頁/定価6,300円 ISBN4-7842-1287-6

## 日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を23の大項目に分け、関連項目を344の小項目としてとりあげ、系統的・組織的に俯瞰した画期的な事典。【大項目】道具/機械/素材/人工の素材/産銅業/石炭産業/動力と動力システム/鉄道と船/航空機と自動車/情報・通信/生産技術/食品加工業/耐久消費財/環境技術/技術者教育 ほか  
▶B5判・550頁/定価12,600円 ISBN978-4-7842-1345-0

## 祈りの文化 大津絵模様・絵馬模様

信多純一著

江戸時代から現在まで、近江大津追分にて作られ、手軽な土産として全国津々浦々の人々に愛された民画・大津絵。その多彩に綾なす信仰、祈り、教訓、そして遊びの画題は、多くの人々の想念の数々を端的に映し出すものである——その起源・絵馬との共通点・画題の意味など新考察を加え、多くの図版をあげて解説した全大津絵の事典。  
▶B5判・178頁/定価3,675円 ISBN978-4-7842-1425-9

## 祭りのしつらい 町家とまち並み

岩間香・西岡陽子編/京極寛写真

祇園祭・天神祭をはじめ、城端(富山県)や大津・倉敷など各地の祭り飾りや造り物などをとりあげ、町家とまち並みを飾る祭りの文化を紹介。カラー60頁。【内容】カラー図版/座敷を飾る/絵画に見る祭りのしつらい/屏風祭の戦後60年/祭りのしつらいと町家・町並み/祭りの住文化とまちづくり/都市祭礼の最前線/造り物の諸相  
▶B5判・224頁/定価2,310円 ISBN978-4-7842-1360-3

## 中世寺院社会の研究

下坂守著

中世社会における影響力の大きさにもかかわらず、その活動を総体として把握しようとする試みがほとんど行なわれてこなかった比叡山延暦寺を主たる対象とする。惣寺一僧侶たちによる合議を基礎単位とした中世寺院の広がりを寺院社会として捉え、その歴史的な意味を考察。ひいては中世社会の本質を探る。  
▶A5判・598頁/定価10,290円 ISBN4-7842-1091-1

## 京・近江・丹後大工の仕事 近世から近代へ

建部恭宣著

寺院造営における大工の仕事、就労状況、町大工の構成と作事棟梁制度の変遷、幕末の藩士住居の図面と用材など、史料の精査に基づいて大工活動の実態と近代化への歩みを考察する。  
【内容】京の大工「三上吉兵衛」の事績と近代化への対応/西教寺本堂造営と江州坂本大工「中嶋次郎左衛門」の仕事 ほか  
▶A5判・270頁/定価5,775円 ISBN4-7842-1282-5

## 朝鮮通信使の研究

李元植著

政治外交と文化交流の両面から、朝鮮通信使が果たした役割を捉える。通信使の訪日における交歓、すなわち筆談と詩文唱和の文事こそ両国の善隣友好を支えた基調であるとの視点から、数多くの貴重な文献・史料を検証し、交歓の実態を明かすと同時に、両国文化の異同・相互の認識と理解、そして筆談唱和のもつ意義とその影響について解明。  
▶A5判・736頁/定価15,750円 ISBN4-7842-0863-1

## 飛脚問屋井野口屋記録(全4冊)

渡邊忠司・徳永光俊編 大阪経済大学日本経済史研究所史料叢書 第4~7冊

尾張領内と京都・大坂・江戸を中心に各地域を結ぶ尾張飛脚の飛脚問屋であった井野口屋の記録。享保8年(1723)から天保14年(1843)までの記録を収め、営業規則・仲間の規約、飛脚人夫の雇い方、飛脚賃、飛脚経路などや、藩主・家臣との間での飛脚の認可・契約の証文などがみられ、近世の飛脚史・郵便制度の実態解明には絶好の基本資料。  
▶A5判・平均450頁/揃定価42,630円

## 近世吉野林業史

谷彌兵衛著

吉野林業を史料に基づいて実証的に解明した初めての通史。【内容】借地林業概念とそのイデオロギー的役割 第一部 吉野林業発展史 吉野地方における育成林業の開始/小農型林業の生成/小農型林業の発展/小農型林業の変質/土倉家山林関係文書の実証的研究 第二部 吉野林業の担い手 小農型林業と材木商人/小農型林業と材木組合  
▶A5判・538頁/定価9,765円 ISBN978-4-7842-1384-9

## 鉄道日本文化史考

宇田正著

「文化の鏡」としての鉄道をとりあげ、知識人の体験や一般人の認識から民俗・観光(巡礼)・教育との関わりを通して、鉄道が日本人の内面的形成に果たした文化的役割を明らかにする。【内容】鉄道初体験と近代への文化的覚醒/日本人一般の鉄道認識の形成/鉄道の発達と伝統文化的契機/国民教育と鉄道の役割/地域社会と鉄道・駅  
▶A5判・352頁/定価5,775円 ISBN978-4-7842-1336-8

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。